

調光技術資料

DSP-DMX
[エンコーダー基板]

(株) **S**YSTEM・**P**LANNER
システム プランナー

- 本社 〒261 千葉県千葉市美浜区幕張西1-24-1
☎ 043-273-8112
- 支社 〒060 北海道札幌市北区北20条西5丁目
☎ 011-758-8533

D S P - D M X 技術資料

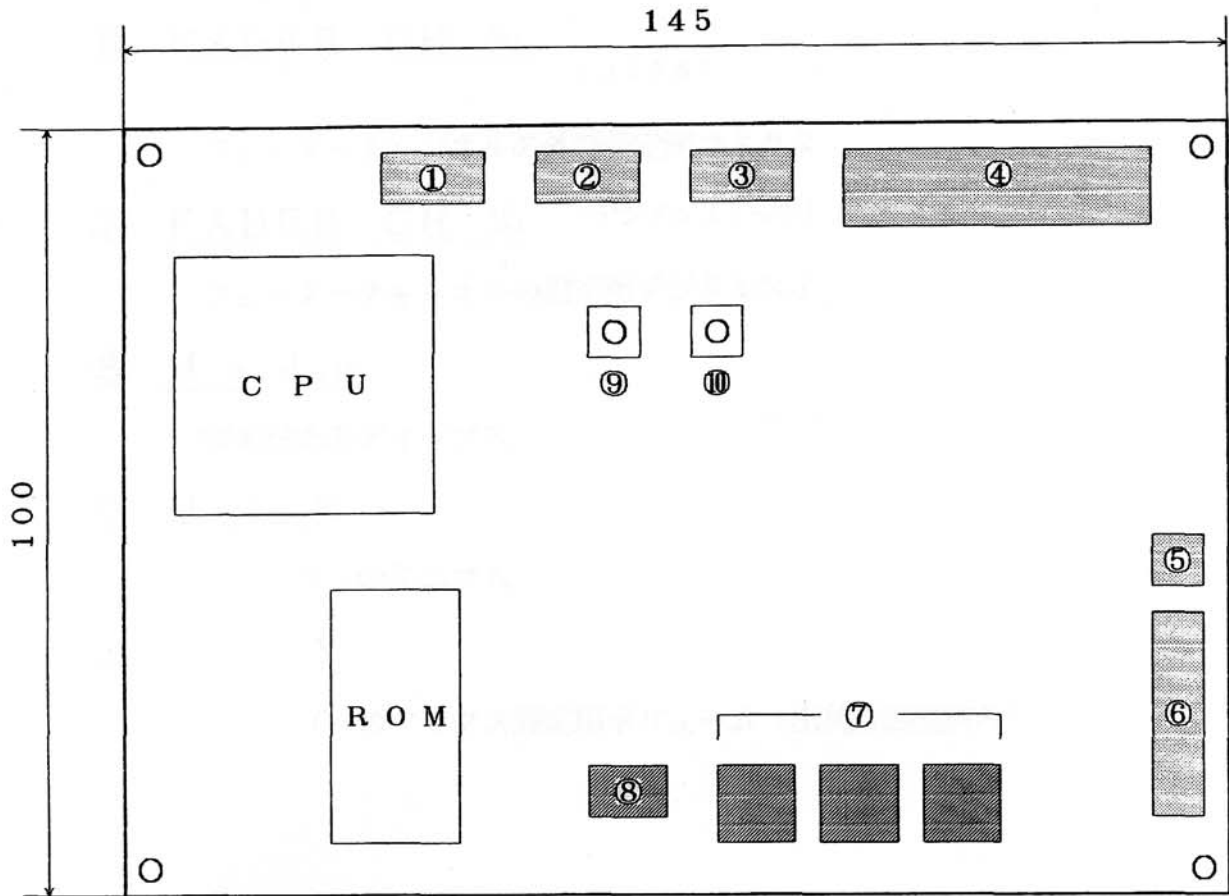
これまで調光卓～主幹ユニットの配線は、芯数の多いマルチケーブルで行なっていた為、引き回し・移動等が困難でした。しかし、DMX-512信号を使用する事により、2芯シールド線1本で最大512チャンネルものユニットを、制御する事ができます。このDMX-512を、調光システムに簡単に組み込む事ができるようにする為に、DMX-512エンコーダー基板を開発致しました。

—般仕様

基板定格電源	DC 5V
基板電源変動範囲	定格電圧の90～110%
定格周波数	50/60Hz
入力信号(アナログ)	DC0～10V
入力信号(デジタル)	DMX-512デジタル信号
出力信号	DMX-512デジタル信号
制御回路数	512ch中任意のchから24ch
DMX入力表示	受信LED点灯
使用温度範囲	0℃～+55℃
使用湿度範囲	35～85%RH (結露なきこと)
使用雰囲気	腐食性ガスのないこと
外形寸法	W:145mm D:100mm H:35mm

§ 1 機能説明

1-1 各部の名称と機能



- ① DMX-IN 1
DMX-512信号の入力用コネクタ (複数の基板を接続時に使用)
- ② DMX-OUT
DMX-512信号の出力用コネクタ
- ③ DMX-IN 2
DMX-512信号の入力用コネクタ (IN1より優先度が高い*)
- ④ 24ch FADER
DC0~10V信号の入力用コネクタ

※ 通常はIN1の信号にエンコードした信号を付加して出力しますが、IN2に信号が入ってくるとIN1の信号を無視して、IN2の信号にエンコードした信号を付加して出力します。

⑤ 基板電源

基板電源用DC 5Vの入力用コネクタ

⑥ F A D E R C H N o. (コネクタ)

フェーダーチャンネルの外部設定用コネクタ

⑦ F A D E R C H N o. (デジタルスイッチ)

フェーダーチャンネルの設定用デジタルスイッチ

⑧ M o d e

将来対応のディップスイッチ (現在は未使用)

⑨ M I N

フェーダーのミニマム設定用ボリューム (出荷時調整済み)

⑩ M A X

フェーダーのマックス設定用ボリューム (出荷時調整済み)

§ 2 DMX-512規格

DMX-512の規格信号にはDMX512/1986やDMX512/1990等、各種パラメーターに幅広い値を認めています。本基板では特に代表的な5種類の信号を、自動的に判別して受信する事が可能です。

出力される信号は、DMX512/1990 8 μ S MAB 信号と、同一パラメーターの信号で出力されますが、折り返しのチャンネル数は入力信号又は基板設定チャンネルのうち大きい方のチャンネルで自動的に折り返します。

	BREAK	MAB	DIMMERS	IBT	IPT
☆ DMX512/1990 8 μ S MAB	88 μ S	8 μ S	512	0	0
24 DIMMERS 8 μ S MAB	88 μ S	8 μ S	24	0	0
DMX512/1990 4 μ S MAB	88 μ S	4 μ S	512	0	0
24 DIMMERS 4 μ S MAB	88 μ S	4 μ S	24	0	0
70 μ S BK 4 μ S MAB 20 D	70 μ S	4 μ S	20	0	0

BREAK = BREAK TIME
MAB = MARK AFTER BREAK
DIMMERS = NUMBER OF DIMMERS
IBT = INTERBYTE TIME
IPT = INTERPACKET TIME